

一人ひとりに合った環境の中で、身の回りのことややってみ
たいことに意欲的に向き合って、自分の世界を広げていく。



◎クレヨンが色のついた棒というひとつの素材として探究されて…

クレヨンでお絵描きをしていたわかちゃん。クレ
ヨンでたくさん色を重ねながら、「あれ？色がつ
かない」「違う色になった」など、実験を繰り返
して、その変化を確かめて楽しんでいました。

大人がクレヨンを握ると、つい、何かの絵を描こうとしてし
まうのですが、こんなクレヨンの楽しみ方や深め方もあるの
か！と、わかちゃんの姿に気付かされるものがありました。
子どもたちは、いつでも研究者であり、探求者ですね。



◎観て楽しむ側からやって演じる側へ…

大人がいつもみんなと歌っていた、ぐんぐんさんに人気の
『ぶたの散歩』の手袋シアターですが、しょうたくんが自分
で動かしてみたい！と挑戦してみた場面です。
今まで見ていたものを、今度は自分からみんなに…しょうた
くんの挑戦心や世界の広がりを感じました。

歌の最後に合わせて「チェ！」と上手におおかみを動かして
くれて、ちっちさんたちも興味津々。お友達のやりたい
気持ちを自然と受け入れてくれるクラスの雰囲気もステキ
ですね！

①と②の保育目標にも当てはまる内容でもありますよね。



屋上の一角が子どもたちの“研究所”になりました



大人が何気なく坂道にして使っていた板を、
はるきくんも『やってみよう！』とすぐに遊びに取り
入れていました。



はるちくんは、小さな小さな容器の口からどうや
って土を入れられるか、いろいろなスプーンやスコ
ップを使って試して、実験していました。

屋上の環境も、子どもたちがじーっくり遊び込
める空間になっていました。土遊びが好きな子
が多いので、ここの花壇は土遊びゾーンに。



何十分も黙々と同じことをやってみたり、繰り返してみたりする姿が
たびたび見られました。ここはまるで子どもたちの研究所みたいで
す…！年末にチューリップの球根植えをクラスでしてから、土に触れ
ることがとっても楽しそうな姿があり、それをきっかけに始まった、
屋上の土遊びでもありました。



わらす組から借りてきたお砂場道具もまた、子ども
たちには新鮮でヒットしたようです。形やサイズも
さまざまなので、例えば上記のはるちくんの“実
験”のように、色々な遊びや探究が生まれてきます。